

養父市長選挙



▼10月31日に梅谷前市長が退任

平成17年1月30日から3年9カ月にわたって養父市長を務めた梅谷馨前市長の退任式が10月31日、八鹿公民館で行われました。

梅谷前市長は、主に平成16年台風23号災害の復旧・復興、行財政改革の推進に力を注がれました。

退任式では、「新市長の下、市民と心を通い合わせて市の発展に努めてほしい」と話しました。

▼広瀬市長が初登庁 職員に訓示

11月4日朝、広瀬市長は市職員らの拍手に迎えられ市役所に初登庁しました。

その後、八鹿公民館で行われた市長就任式では、「職員が輝けば養父市が輝くことにつながる。コスト感覚を磨き、持てる力を十分に発揮して、私と一緒に養父市と市民を守ってほしい」と職員に対して訓示しました。



養父市長
ひろせ さかえ
広瀬 栄

～新市長の略歴～

- ▶昭和22年11月2日生まれ。
- ▶八鹿高等学校、鳥取大学農学部農業工学科卒業。
- ▶昭和46年に民間企業に就職。
- ▶昭和51年に旧八鹿町に採用。以後、商工労政課長、企画商工課長、建設課長を歴任。
- ▶平成16年4月に養父市都市整備部長に就任。
- ▶平成17年3月に助役に就任。
- ▶平成19年4月に副市長に就任。

市長就任にあたって

このたびの市長選挙において新しく市長に選出されました広瀬栄です。市政運営に携わる責任の重さを十分に受け止め、市民の皆様のご期待に応えられる市政運営を行います。

養父市の抱える少子高齢化等に伴う人口減少、脆弱な財政基盤などの大きな課題の解決に向け、新たな発想と柔軟な対応によって市民の皆様が安心して住んでいただける希望もてる地域づくりを進めます。

よりよい養父市の将来像を描くとき、今、養父市に最も必要なことは市と市民の「元氣」、市民の「笑顔」、さらにお互いの「思いやり」

であり、また「元氣」「笑顔」「思いやり」を培うためには、市民の皆様と行政が心を通い合わせること、すなわち「市民のためのまちづくり」を行うことであります。そのために「地域を守り、地域と共に生きる」を基本的な市政運営の柱とします。

今こそ養父市は、合併の効果を発揮した力強い市となるため、市民と行政が共に手を携え、新しく生まれ変わるための意識改革が必要な時であります。この基本的な市政運営の柱を実現するため、4つの基本施策（目標を設定しました。第1は、「人口3万人、親

光（交流）人口150万人」のまちを目指します。第2に、みんなが共に暮らせる養父市をつくりたい。第3に、みんなの健康と福祉が私が守ります。第4に、公民協力のもと地域の活力を高めます。これら4つの目標を実現するため、具体的な施策を実行します。

私は養父市のリーダーとして、判断力と決断力、そして行動力をもって、養父市が抱える多くの課題の解決に向けて努力を重ね、「元氣・笑顔・思いやり」のある養父市づくりを市民の皆様と共に進めます。皆様の格別なるご協力をお願いいたします。